

執筆者紹介（掲載順）

藤原享和（同志社高等学校教諭）

関河眞克（本学大学院博士課程前期課程在学学生）

加藤直志（名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校教諭）

小林純子（本学大学院博士課程後期課程在学学生）

王欣（本学大学院博士課程後期課程在学学生）

足立一勝（本学大学院博士課程前期課程在学学生）

牧野さやか（本学大学院博士課程前期課程在学学生）

中田あゆみ（本学大学院博士課程前期課程在学学生）

山本和恵（本学大学院博士課程前期課程在学学生）

丸山健一郎（本学大学院博士課程後期課程在学学生）

編集後記

本号には、上代文学・中古文学・中世文学・近世文学の論考と、古代・中世・近世文学の資料紹介を掲載している。和歌、物語、説話、近世小説のほか、日記、絵画資料など、さまざまな作品が対象として取りあげられ、研究の広がりや反映した多彩な内容となった。また執筆者は、院生・卒業生からなり、とりわけ同志社大学を離れた卒業生が日々研鑽を怠らず、論文を投稿してくれたことは喜ばしい。

本誌は、編集委員会を中心として、投稿論文に対し査読を実施している。したがって場合によっては不採用もありうるが、今後とも奮ってご投稿をお願いしたい。特に院生・卒業生には、本誌を積極的に活用していただきたいと思う。